

## 2025年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人聖公会栄光学園聖ヤコブ幼稚園 園長 長尾晶子  
 学校法人聖公会栄光学園聖ヤコブ幼稚園

学校関係者評価委員会

### 1. 教育目標

- 神さまにも人にも愛される子どもたち
- お祈りや遊びを通して五感を働かせ様々な体験をして、神さまの愛を感じながら人との関わり方や人を思いやることを学び、心の成長へと繋げていく。

### 2. 本年度取り組んできた重点目標

- 1) 教育方針でもある神さまの存在を昨年度より更に深く学び工夫しながら日々の生活の中で子どもたちの心に伝えていく。
- 2) 日頃からの避難訓練や安全教育を通して様々な視点から防災について考え、迅速かつ的確な行動がとれるよう徹底する。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

○季節や世界事象にも目を向けながら、目に見えないものを感じる ○様々な視点から防災について考え、安全・安心な園づくり

令和7年度初めに定めた下記の取り組みを基に年度末に成果を検討した結果が下記の通りである。

評価項目	自己評価			学校関係者評価	
	評価	取組状況	取り組みによる成果	評価	意見
様々な災害時や緊急時に対応できるように、子どもの命を守る具体的方法を教職員一人ひとりが身につける。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を通して様々な訓練を行った。</li> <li>・避難靴の履き方・防災頭巾のかぶり方を普段の保育の中にも取り入れ繰り返し練習した。</li> <li>・動画鑑賞や防災グッズを実際に手にしてみる体験を増やした。</li> <li>・園指定にしている避難場所の中学校へ行ってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じた避難の仕方を改めて職員間で話し合い、改善する機会となった。</li> <li>・繰り返し練習することでスムーズに避難できるようになった。また、補助の必要な子や補助の仕方を教職員が理解できた。</li> <li>・動画鑑賞をすることで災害の恐ろしさを伝えつつ、訓練の大切さを園全体で身につけられた。また、園でどんな防災グッズが必要なのかを改めて見直す機会となった。</li> <li>・実際に行くことで中学校の教職員への周知が出来、実際に避難した際にスムーズに受け入れてもらえた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に起きた地震でスムーズに避難できたことは訓練の成果だと思います。新入園児、新人の先生方への来年度のご指導を期待いたします。</li> <li>・12/12の中学の参観日中に地震が発生し、その後園児たちが速やかに中学校へ避難してきました。先生方の指示に従ってとにかく急いで命を守るということを実際に体験させたり日々の工夫をととても大事にしていると思いました。</li> <li>・迅速に靴を履き頭巾をかぶり筒井中学校との連携のもと実避難も速やかにトラブルなく行えたのは日頃の取り組みの成果と思われます。引き続き危機管理意識を持ち、子ども自らが命を守る大切さを身につけられるようご指導お願いいたします。</li> </ul>
聖話や季節の聖歌を通して世界事象にも目を向け、日々の生活の中で神様を身近に感じられる時を大切にす	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を取り入れ分かりやすく世界事象を伝えた。</li> <li>・月の聖句を日々のお祈りの中に取り入れた。</li> <li>・自由祈禱をする機会を設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナとロシアの戦争について絵本で伝えることで、世界に目を向け心を動かす時となった。</li> <li>・各月の聖句がどのような意味なのか子どもたちと考えることで、日々の生活の中に答えが隠れていることに気が付き、改めて目に見えないものを信じ、神様を感じる時となった。</li> <li>・小さなことでも自分なりにお友だちや家族のことを思いながらお祈りする気持ちが持てるようになった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス会の聖劇を拝見し子どもたちが素直に神様を信じ、感じていると思いました。</li> <li>・イースター、クリスマスを通じ大齋節や降臨節の意味も知ってほしいと思います。</li> <li>・聖話をわかりやすく、一生懸命に教えていて人に対する優しさや家族・お友だちのことをお祈りする気持ちを身につけていってると感じました。</li> <li>・お祈りが身近な日常のものとして受け留められるようになったことが子どもにとってひとつの成長かと思いました。戦争の絵本で自分なりの平和の尊さを抱けたかと思っています。聖句に込められた愛をいつの日か自分ごととして理解する日がくるでしょう。</li> </ul>

### 4. 総合的な評価結果 (A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して行うことで今後も見直しが必要な課題もあったが、園全体で防災に対する意識が高まった。</li> <li>・また、園だけではなく園に関わる場所との連携・周知ができた。</li> <li>・自分なりの言葉や方法で子どもたちにわかりやすく伝えることで、子どもたちと一緒に様々なことに目を向けながら神様の存在を感じられるようになった。</li> <li>・また、聖話をしている中で職員が聖書に対する気付きや更なる興味を持つことが出来た。</li> </ul>

### 5. 今後の課題と具体的な取り組み方法

来年度への課題	来年度の具体的な取り組み方法
安全教育の見直し 職員間での連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の課題解決と園でのマニュアル作成。</li> <li>・合同礼拝や律動に職員全員が関わり、連携しあいながら自分の引き出しを増やしていく。</li> </ul>

